

「蔦の細道」デジカメ取材

静岡市西部公民館の企画 平成 19 年 10 月 9 日



蔦の細道（入り口）

慶龍寺



慶龍寺入り口



許六の句碑



六地藏尊



本堂入り口と十団子

慶龍寺(曹洞宗)の寺で、鎮守として延命地藏尊(弘法大師作)が祀られている。(本尊は十一面観世音菩薩)

当寺に係わる伝説「十団子」が有名で要約すると。

住職に腫れ物ができて、小僧に膿血を吸わせると、人肉の味を覚え鬼になって通る旅人を食べた。

地藏菩薩は旅僧に変身して鬼と出会う、旅僧は「お前の正体」と問うと大きな鬼に化けて威嚇した。

旅僧は「この掌に乗ってみよ」と言うと鬼は小さく化けて乗ったとき、旅僧は杖で砕くと十粒の小玉になった。

旅僧は「お前は仏になった、これから旅人に苦難はならぬぞ」と悟し小玉を一口に飲み込んだ。

その後は鬼による危害は無くなった。

「十団子」は道中守護の魔除けとなっている。

境内に入り右側に「許六の句碑」がある 十団子も小粒になりぬ 秋の風 と歌っている

許六は、秋風に揺れるほど十団子が小粒になったなー、と思ったのか？ 本堂の正面の壁面上部に十団子が吊るしてある。

六地藏尊 境内左に祀られている。

六地藏尊とは

顔形は同一だが手の持ち物などが異なる。六道にあって、衆生の苦悩を救済するという六種の地藏菩薩。

三悪道を救うのが（地獄道）檀陀地藏菩薩・（餓鬼道）宝珠地藏菩薩・（畜生道）宝印地藏菩薩）

修羅道は、常に帝釈天と戦っている悪神。

これから御羽織屋へ足をすすめる。

（以下、3ページにわたりますが、割愛させていただきます。）